

事務事業実績測定調書

R4調書番号 652

事務事業名称	し尿収集業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方自治法、同法施行令、同法施行規則、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例及び同施行規則				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者			
	サブターゲット	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者の近隣に在住する市民・事業者			
	ターゲットが抱える課題	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごせるよう収集・運搬業務を迅速かつ的確に行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。				
事業概要	定期収集は、おおむね21日を周期として行い、臨時汲み取りは、電話受付後、随時収集を実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。	収集したし尿を適切に運搬する。				対象世帯に対し、し尿収集を実施する。				
指標設定	指標説明	し尿収集の要望に対する執行率 【収集量/収集要望量×100】	年間収集量				し尿収集対象世帯数				
		単位 %	単位	kl		単位	件				
	指標種類	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5				
	指標数値	目標 (見込み)	100 100 100 100	1,650 1,530 1,430 1,340	620 580 540 500						
	実績	100 100 100	1,556 1,434 1,298	618 542 505							
	達成度	100%				109%				106%	

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	6.60
再任用	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	63,898	60,683	57,601		
	会計年度任用職員	459	377	75		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	64,357	61,060	57,676		
	物件費計	1,659	1,675	1,589	2,020	78.7%
	歳出計	66,016	62,735	59,265		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,659	1,675	1,589	2,020	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>収集業務は、21日周期を原則とした定期収集（普通・大口手数料）を収集車2台、その都度収集する臨時収集（臨時手数料）を収集車1台で実施した。公共下水道地区整備に伴い、し尿収集対象世帯は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区の変更や整理を随時行った。</p> <p>し尿収集状況については、普通汲取件数8,003件、汲取量1,092.37kl、大口汲取件数531件、汲取量147.00kl、臨時汲取件数305件、汲取量58.40klで、合計汲取量は1,297.77klであった。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>21日周期を原則とした定期収集（普通・大口手数料）を収集車2台、その都度収集する臨時収集（臨時手数料）を収集車1台で実施する。また、公共下水道整備の進捗と点在する収集世帯の状況を踏まえ、収集車両台数、収集員の適正配置及び收取経路の見直しを図りながら引き続き、効果的な収集を行う。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 653

事務事業名称	し尿処理業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」			
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びディスポーザを設置しており利用している者			
	ターゲットが抱える課題	し尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入できるようにする必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られるようにする必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、そして、し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている状態。				
事業概要	市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っている。 希釈放流方式 計画処理量 約60kl/日 放流量 1,140?/日				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている。				希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理する。				搬入されたし尿・浄化槽汚泥等に対し、希釈放流方式にて処理する。			
指標設定	指標説明	し尿及び浄化槽汚泥等に対する処理完了率 【処理量/搬入量×100】				年間放流量				年間搬入量			
		単位 %				単位 ?				単位 kl			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	282,568	221,464	207,024	193,876	14,872	11,656	10,896
	実績	100	100	100		286,534	259,128	248,533		13,424	12,441	11,393	
	達成度	100%				80%				95%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	4.60
再任用	1.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	44,718	50,983	44,998		
	会計年度任用職員	459	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	45,177	50,983	44,998		
物件費計	155,682	140,506	152,751	260,775	58.6%	
歳出計	200,859	191,489	197,749			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	155,682	140,506	152,751	260,775		

5. 総括的分析

総括的分析	希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理した。 希釈放流センター受入状況については、受入日数248日、家庭系し尿受入量1,297.77kl、事業系し尿受入量746.98kl、浄化槽汚泥受入量9,335.38kl、デスポーザー汚泥受入量12.99klであった。また、希釈水量233,728.00m ³ 、放流量248,533.00m ³ であり、希釈放流水質については、放流基準を順守した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	希釈放流センター施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	建築物衛生法、労働安全衛生法、水道法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」			
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びディスポーザを設置しており利用している者			
	ターゲットが抱える課題	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行い、施設の維持管理を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行えて、施設の維持管理ができている状態。				
事業概要	<p>○施設の概要 希釈放流センター(所在地:出口2丁目30番1号・開設年月日:平成5年9月30日・敷地面積:33,175.77㎡ 延床面積:5,498.94㎡・建物構造:鉄筋コンクリート造2階建外)</p> <p>○緩衝緑地帯(敷地面積:744.37㎡)</p> <p>○委託業務(清掃委託・受水槽・警備委託・害虫駆除委託・空気環境測定委託・淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託)</p> <p>○事業内容 警備委託(機械警備)による休日・夜間の管理。 清掃委託等による建物の維持管理及び淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託による施設内の美観の維持。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			淀川衛生事業所が適正に維持管理されている。				淀川衛生事業所の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明		修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				契約種別数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100以内	100以内	100以内	100以内	6	6	6	6
	実績		60	62	71		6	4	6	
達成度						100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	14,648	11,756	10,833		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,648	11,756	10,833		
	物件費計	6,262	6,041	6,247	8,827	70.8%
	歳出計	20,910	17,797	17,080		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	6,262	6,041	6,247	8,827	

5. 総括的分析

総括的分析	決算額については、除草樹木剪定等委託料 915,420円、清掃委託料 2,383,200円、警備委託料 2,376,000円、空気環境測定委託料 93,500円、害虫駆除委託料 28,380円、貯水槽清掃委託料 32,890円、消耗品費 403,401円、手数料 0円、使用料(NHK受信料)14,205円、安全管理者講習負担金 0円となっており、適切に施設の維持管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市域から発生するし尿・浄化槽汚泥を滞りなく搬入できるよう施設の維持管理を適切に行っていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 663

事務事業名称	希釈放流センター老朽化対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名	上水道及び生活排水の適正処理の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	R6年度(2024年度)
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」			
	サブターゲット	汲み取り便所、浄化槽及びディスポーザを設置しており利用している者			
	ターゲットが抱える課題	老朽化対策工事を実施している間についても、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	複数年に渡る老朽化対策工事を実施することにより、今後も安定した処理を行うことができる。				
事業概要	<p>現希釈放流センターについては、平成28年度から平成29年度にかけて、市立淀川衛生工場改造工事を実施し、工事完了後となる平成29年12月18日から希釈放流を開始した。改造工事の内容については、主に下水道へ放流する設備の設置や槽内の防食・防水補修及び電気設備の改造であり、平成5年に市立淀川衛生工場が稼働を開始した時から使用している脱臭設備や前処理設備は既存のままである。</p> <p>今回の希釈放流センター老朽化対策工事では、主に既存のまま使用している設備の更新を目的とした内容であり、予算の平準化に努め、令和3年度から令和6年度までの4ヶ年で実施するものである。</p> <p>【令和3年度から令和6年度までの総事業費】 231,027千円(消費税込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 3,100千円(消費税込み) ・令和4年度 84,913千円(消費税込み) ・令和5年度 45,072千円(消費税込み) ・令和6年度 97,942千円(消費税込み) 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			老朽化対策工事に係る実施設計委託・工事の進捗度				老朽化対策工事に係る実施設計委託・工事を実施する				
指標設定	指標説明		総事業費に対する進捗率【算出式: 執行済額/総事業費×100】				各年度ごとに予定している委託・工事の実施率【算出式: 執行済額/契約金額×100】				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		-	1.34	38.10	57.61	-	100	100	100
	達成度		104%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.83
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	7,543	6,484		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	7,543	6,484		
物件費計	—	2,465	89,055	110,000	81.0%	
歳出計	—	10,008	95,539			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	66,700	152,300	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	66,700	152,300	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	2,465	22,355	0		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>希釈放流センターの、主に既存のまま使用している設備について、予算の平準化に努め、令和3年度から令和6年度までの4ヶ年で更新を行う。</p> <p>【令和6年度までの総事業費】 231,027千円(消費税込み) ・令和3年度 3,100千円(消費税込み) ・令和4年度 84,913千円(消費税込み) ・令和5年度 45,072千円(消費税込み) ・令和6年度 97,942千円(消費税込み)。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	希釈放流センターの、主に既存のまま使用している設備について、予算の平準化に努め、令和3年度から令和6年度までの4ヶ年で更新を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 675

事務事業名称	公衆便所管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市公衆便所条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公衆便所を利用する者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公衆便所を利用する者が、快適に利用できるような必要な維持管理を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆便所を利用する者が、快適に利用できている状態。				
事業概要	<p>公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西口公衆便所(枚方市桜町2番23号) 開設 昭和28年3月、敷地面積 23.14㎡、延床面積 16.00㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 洋式 1、小便器 1) (女子 洋式 1) ・枚方公園駅前公衆便所(枚方市伊加賀北町5番11号) 開設 昭和34年7月、敷地面積 51.06㎡、延床面積 20.80㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 和式 1、小便器 2) (女子 和式 2) (身障者用 和式 1) 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						公衆便所が適切に維持管理されている。				公衆便所の施設・設備の清掃等、各種施設保全、保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				施設・設備の点検及び清掃回数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	365	365	365	366
	実績					74	95	87		365	365	365	
達成度										100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.14
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,196	1,100	1,094		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,196	1,100	1,094		
物件費計	1,610	1,912	1,908	2,191	87.1%	
歳出計	2,806	3,012	3,002			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,610	1,912	1,908	2,191		

5. 総括的分析

総括的分析	決算額について、公衆便所清掃委託料 1,650,000円、光熱水費 257,506円、修繕料 0円、原材料費 0円、消耗品費 0円であった。清掃業務委託で対応できない修繕等については、職員での対応を行い適切な維持管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	公衆便所のあり方について検討してく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 879

事務事業名称	希釈放流センター運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	希釈放流センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	希釈放流センター職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	11,786	7,812		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	11,786	7,812		
物件費計	—	2,122	2,870	3,161	90.8%	
歳出計	—	13,908	10,682			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	160	0	5	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	31	3	30	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	191	3	35	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	1,931	2,867	3,126		

5. 総括的分析

総括的分析	適切で効率的な運営ができるよう努める。
-------	---------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	適切で効率的な運営ができるよう努める。